

令和5年度 三重大学 高大連携 東紀州講座【高校生を対象とした公開授業】実施要項

1 目的等

この講座の目的は、三重大学と木本高校・尾鷲高校との密接な連携のもと、三重大学の教育研究資源を両高生徒へ開放し、理系・文系を問わず、最新の科学的知見を還元することや、学習意欲あふれる進学希望者をより多く確保することにある。また、三重大学のミッションである地域への貢献と地域からの要望がマッチした事業となっている。

なお、両高は本学から遠方のため、本学教員が訪問する実施形式とし、各学部1講座（医学部においては医学科と看護学科でそれぞれ1回）を開講する。

2 開講計画

講座名 : 東紀州講座（第18回）

受講生 : 尾鷲高校・木本高校生徒

実施場所 : 尾鷲高校 〒519-3659 尾鷲市古戸野町3-12 TEL 0597-22-2115

E-mail howasead@mxs.mie-c.ed.jp

木本高校 〒519-4394 熊野市木本町1101-4 TEL 0597-85-3811

E-mail hkimotad@mxs.mie-c.ed.jp

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、オンラインによる開講となる場合があります。

講習料 : 徴収しない

修了証書 : 全講座を受講した受講生に授与

3 講義日程・開催校・内容等

月日 (曜日)	開催校	講師 所属学部	≪講義題目≫ 講義内容
7月24日(月)	尾鷲高校	八尾 浩史 工学部	<p>≪ナノの世界の金属の不思議：「ナノ」は化学の得意分野≫</p> <p>みなさんに「金 (Au) とはどのようなものですか？」と質問をすれば、美しい輝きを持った金属を想像されるでしょう。しかし、もしAu原子が10個しか、あるいは100個しか無ければそれは金属と言って良いのでしょうか。では、金属とは何なのでしょう。化学の力でこのような問題を調べる事ができます。本講義では、ナノの世界の金属の不思議についてお話しします。</p>

月 日 (曜日)	開催校	講 師 所属学部	《講 義 題 目》 講 義 内 容
7月25日 (火)	木本高校	松岡真里 医学部看護学科	<p>《第1部：あなたの知らない看護職の世界》 《第2部：こどもの苦痛を緩和する》</p> <p>前半と後半では、ちょっと違うように実は共通する2つのテーマをお話しします。</p> <p>みなさんがイメージする看護ってどのようなものでしょうか？看護職も研究をしたり、現在では働く場所も多様化していたりしています。言葉で上手に痛いとかいやだと言えない小さなこどもの苦痛を和らげるために、看護師にはどんなことができるか、みなさんと一緒に考えたいと思います。「え？看護師さんはそんな役割があるの？」「看護ってすごいかも！？」と感じてもらえるようなお話をさせて頂きたいと思っています。</p>
7月26日 (水)	尾鷲高校	丸山 和晃 医学部医学科	<p>《自然と人間》</p> <p>今回講義をさせていただくにあって、理系の内容に偏らないこと、できるだけその学部に通ずるテーマで話す事を要望していただきました。医学部というと理系の科学的な知識をもとに、病院で仕事をするというイメージをみなさんお持ちだと思いますが、実際の仕事の多くは患者さん・スタッフ・同僚の方たちと決められたルールの中、話し合いや調整を行なって物事が進んでいきます。つまり、文系的な要素が満載です。</p> <p>理系と文系を別の言葉で表すと「自然」と「人間」とも言えます。今回の講義では、みなさんと一緒に自然や人間、社会や世間などに関して考え、議論してみたいと思います。</p>
7月27日 (木)	木本高校	勝崎裕隆 生物資源学部	<p>《化学の言葉で語る食と健康》</p> <p>化学の言葉とは 食品成分とは 食品成分が通して健康に役立つか化学の言葉で紹介する。</p>
7月28日 (金)	尾鷲高校	亀田夕佳 人文学部	<p>《サブカルチャーとしての『源氏物語』——「もののけ」に注目して読む——》</p> <p>『源氏物語』は日本を代表する古典文学ですが、平安時代当時は現代の漫画やアニメのようなサブカルチャーでした。今回は「もののけ」が登場する場面を解説しながら、大学でどのような研究がされているか紹介します。</p>

7月31日（月）	木本高校	内田秀昭 教育学部	<p>《経済学のレンズを通して見る社会の仕組み》</p> <p>世の中には映画館やバス・電車のように大人と子供で値段が異なるものもあればレストランのメニューのように同じものもあります。それはなぜでしょうか。値段を付ける人にはその人なりの意図がありそうです。その意図を読み解くことで、これまでとは違う視点で社会を見ることができるようになります。</p>
----------	------	--------------	---

【注】① 講義時間：13時10分～15時00分（講義50分 → 休憩10分 → 講義50分）

② 初日は開講式を、最終日は閉講式（修了証書授与式）を行うものとする。

③ 天候や新型コロナウイルスの感染状況に応じて、オンラインによる開講も可能な講義内容とする。

4 天候等の影響におけるオンラインによる開講への変更及び休講基準

(1) 講義実施日の午前8時の時点で、中部区域（津市）又は紀勢・東紀州区域のうち尾鷲市・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町のいずれかに、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれかが発表された場合は、講義方法をオンラインに変更できるものはオンラインによる開講を行い、対応できない講義は休講とする。

(2) 講義実施日の午前8時の時点で、中部区域（津市）又は紀勢・東紀州区域の上記市町に、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれも発表されていない場合は、原則開講とするが、午前11時の時点で、紀勢・東紀州区域の上記市町いずれかに、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれかが発表された場合は、講義方法をオンラインに変更できるものはオンラインによる開講を行い、対応できない講義は休講とする。

(3) オンラインによる講義への変更及び休講の判断が難しい天候状況やJR線が不通となった場合、開催校と担当講師が相談のうえ、特別警報・警報の有無に関わらず、オンラインによる開講あるいは休講を決定しても構わないものとする。

5 その他

傷害保険は三重大学で負担する。